

基本目標 Ⅲ 家庭生活と社会活動の両立支援

具体的施策 (項目)	担当室	令和6年度 事前評価				令和6年度 事後評価				今後の方向性 ・改善方法	
		事業計画		視点評価		事業実績		視点評価			男女共同参画 視点評価理由
		施策の内容	取組計画	個別評価		取組実績	課題	個別評価	全体 評価		
48 出産・子育てがしやすい環境の整備	人事研修室	男女がともに支え合い、安心して出産・育児を行い、円滑に職場復帰した後、仕事と子育ての両立ができるよう、職場としてのサポート体制の確立と支援制度の充実を目指します。	・男性職員の育児休暇所得促進等、職場における出産・子育てのための支援制度を活用しやすい雰囲気づくりや、特に子どもが生まれた家庭の男性への制度周知や管理職への配慮依頼など、男性が子育てに関する休暇を取得しやすい環境づくりに取り組みます。	①	A	・人事異動にあたり、子育てを行う職員が仕事と家庭を両立し、個性と能力を十分に発揮できるよう、職場のサポート体制に配慮した職員配置に努めました。 ・育児休業の取得手続きや共済制度について情報提供を行うとともに、取得の申し出があった場合に、代替の会計年度任用職員を配置するなど、職員が安心して育児休業等を取得できる体制づくりに努めました。 ・令和6年度の女性職員の育児休業取得率は100%あり、男性職員の育児休業取得者は 19名 でした。 ・ 男性の配偶者出産休暇等取得率(行政職)R5年度76.9%、R6年度78.3%	・次年度以降も男性職員が育児休業を取得しやすいように配慮を行う必要があります。 ・積極的に男性の育児休業や配偶者出産休暇、育児参加休暇を取得するように啓発していく必要があります。	①	A	引続き、職場内において、男性職員が育児休業を取得しやすい雰囲気づくりを進めていく必要があります。 ・職場における出産・子育てのための支援制度を活用しやすい雰囲気づくりや、特に子どもが生まれた家庭の男性への制度周知など、男性が取得しやすい環境づくりに取り組みます。 ・特に管理職に対して、育休制度に対する理解を促していく必要があります。	
				②	A			A			
				③	A			A			
						事業の方向					
						継続					

具体的施策 (項目)	担当室	令和6年度 事前評価				令和6年度 事後評価				今後の方向性 ・改善方法		
		事業計画		視点評価		事業実績		視点評価			男女共同参画 視点評価理由	
		施策の内容	取組計画	個別評価		取組実績	課題	個別評価	全体 評価			
49	ワーク・ライフ・バランスの推進 人事研修室	<p>職員が、それぞれのライフステージにあったワーク・ライフ・バランスを実現し、やりがいを持って働けるよう、支援制度などの活用を促進するとともに、職員の意識・職場風土の醸成や働き方の改革など、仕事と生活の両立のための環境づくりを進めます。</p>	<p>・超過勤務の状況の周知や超過勤務者に対する産業医による面接指導の実施など、超過勤務の是正に向けた取組を進めます。</p> <p>・休暇計画表を活用し、年次有給休暇の取得率向上を進めます。</p>	①	A	<p>・休暇計画表を活用し、年次有給休暇を年15日以上取得するよう案内したほか、管理職に対して、ライフ情報も含めた部下のスケジュール把握等に努めることで、休暇を取得したい職員が周りの理解・協力を得てしっかり取得できる職場風土づくりに取り組んでいただくよう周知しました。</p> <p>・年次有給休暇やバースデー休暇、夏季休暇等の積極的取得に向けた啓発を行うことで、休暇を取得しやすい職場環境を整えました。</p> <p>令和6年実績(1月～12月) <年次有給休暇取得率実績> 男性: 68.1% 女性: 59.2% ※前年度報告までは、繰越日数込みでの取得率でしたが、今年度からは、繰越日数除く、当年度付与に係る取得率としています。</p>	<p>・時間外勤務の抑制や年次有給休暇の取得促進については、災害対応や他律的な業務により、男女にかかわらず、やむを得ず実施が困難な職場もあります。</p> <p>・令和2年度に策定した第2次名張市定員管理方針に基づき、必要な職員数の確保を行い、ワークライフバランスを推進していく必要があります。</p>	①	A	各視点において、十分に配慮しています。	職員の意識付けや取組定着のための更なる工夫が必要です。また、時間外勤務の抑制に向けた啓発取組は、災害対応や他律的な業務により、物理的に実施が困難な職場もあることから、人員配置も含めたワーク・ライフ・バランスのサポートを検討していく必要があります。	
				②	A			②	A			事業の方向
				③	A			③	A			